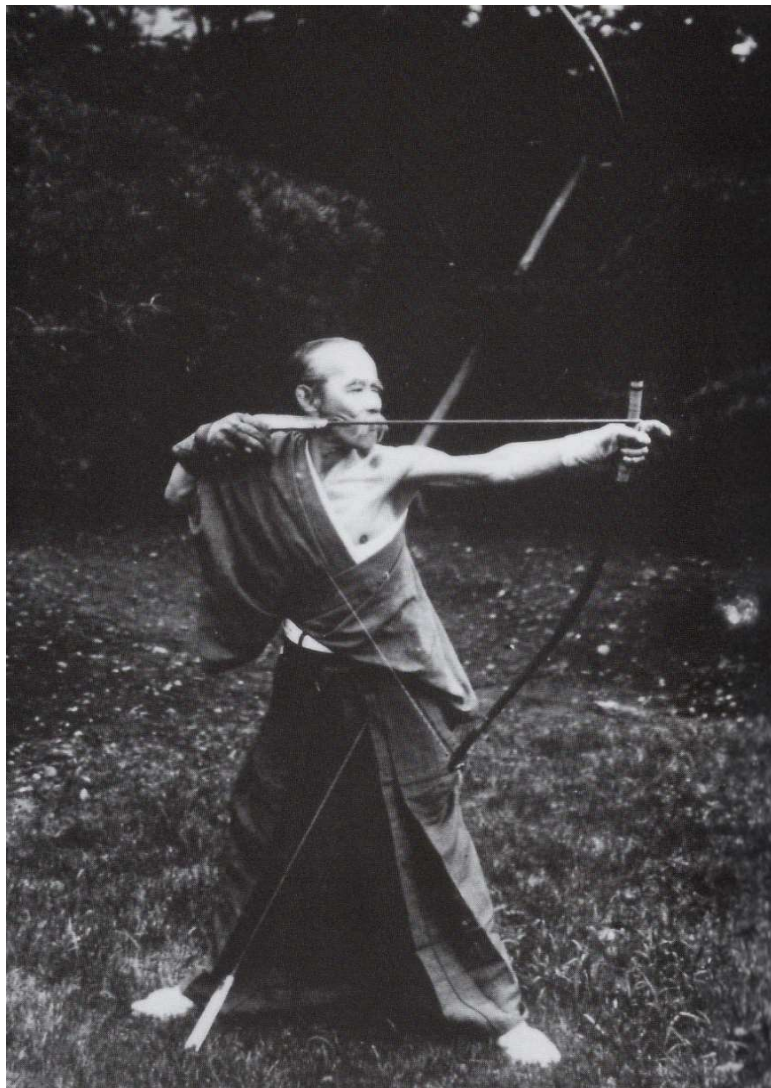




一般財団法人 本多流生弓会

入会ご案内

射は剛健典雅を旨とし、精神の修養と肉体の錬磨を以て目的とす



流祖 本多利實翁

●本会の目的

本会は、生弓齋本多利實翁（注1）の遺志に基づき、弓道精神による人格陶冶及び本多流弓道の研究並びに普及を通じた日本の伝統文化の継承に寄与するとともに、国民の心身の健全な発展向上に努め、以って社会の発展に寄与することを目的としています。

具体的には、本多利實翁が創始し、現代射法として普及した「正面に打ち起こして大三を取る射法」（注2）の神髓を追求するとともに、翁が残した「生弓齋文庫」（注3）に基づく古来の伝統的射学を後世に伝えています。また、現代科学を駆使した研究も積極的に行っています。

注1： 本多流流祖。生弓齋と号す。天保7（1836）年生。江戸における日置流竹林派の家元。第一高等学校、華族会館、東京美術学校、東京帝国大学、大日本弓術会などを指導した。大正・昭和初期に活躍した名射手の多くは翁に学び、弓聖とも称えられる。

注2： 本会の師範であった高木榊（たかぎ・たすく）氏は、財団法人（現公益財団法人）全日本弓道連盟範士・十段で、副会長、審議会委員、全日本学生弓道連盟会長などの要職を歴任され、全日本弓道連盟弓道教本第一巻創刊当時の射法制定委員として全日本弓道連盟射法の制定に尽力された。

注3： 生弓齋文庫には、翁が収集した弓書1,000冊以上が収められ、貴重な弓道文化遺産となっている（非公開）。

●本多流宗家四代



利實（としぎね）
（1836～1917）



利時（としとき）
（1901～1945）



利生（としなり）
（1934～1994）



利永（としなが）
（1968～）

●沿革

- 大正 6（1917）年 利實翁逝去
- 大正12（1923）年 利時、二世宗家継承 ※本会の起点
- 大正14（1925）年 社団法人生弓会発足
- 昭和18（1943）年 社団法人生弓会を財団法人生弓会に改組
- 昭和38（1963）年 利生、三世宗家継承
- 平成 6（1994）年 利永、四世宗家継承
- 平成24（2013）年 財団法人生弓会を一般財団法人本多流生弓会に改組
- 令和 5（2023）年 創立100周年

●事業活動

○射会・研修会

新年射会、大学OB・OG親善射会、京都研修会、合宿研修会、中央研修会等の行事を年間を通じて開催しています。また全国各地の支部で研修会等を実施しています。

【標準的な行事日程】

1月：新年射会（東京） 2月頃：大学OB・OG親善射会（東京） 4月頃：追悼射会（各地）
5月：京都研修会（京都） 6月頃：合宿（各地） 6～8月：通信射会（各地）
7月：遠的大会（東京） 10月頃：中央研修会（東京） 12月：納射会（東京）

【支部組織】

関東	伊勢崎支部（群馬）、上毛支部（群馬）、静心洞支部（栃木） 洗心洞稽古会支部（埼玉）、埼玉東部支部（埼玉） 埼玉西部支部（埼玉）、東京支部（東京）、赤門支部（東京） 東京外大支部（東京）、横浜支部（神奈川）、茅ヶ崎支部（神奈川）
中部	信州支部（長野）、東海支部（岐阜）
関西	関西支部（大阪）、指月庵支部（兵庫）、岡山支部（岡山） 広島支部（広島）
海外	欧州支部

○書籍・映像資料の出版

『会報』をはじめ本多流射法や射礼に関する書籍、射礼動画などを制作しています。

●会員特典

○本多流宗家をはじめ全国各地の師範・師範代・指導員の指導を受けられます。

○本多流宗家より、本多流印可※をお受けになることが出来ます。

※初伝、修学、中伝、小目録、目録、中玉、免許の段階があります

○本会主催の射会、研修会に自由にご参加いただけます。

○遠隔地の方は写真、動画による通信指導が受けられます。

○『会報』（年1回発行）をお送りします。

○流派の先人が残した著作をまとめた『本多流叢書』の頒布が受けられます。

●入会手続き

入会までの大まかな流れは、入会申込書記入・送付、入会審査、入会金・年会費納付となります。詳しくはお近くの会員にお問合せいただくか、電子メールによりお問い合わせ窓口（info@hondaryu.net）までご連絡ください。

会員区分	入会金	年会費
普通会员	2,000円	3,000円
学生会員	1,000円	1,500円
学校会員	—	5,000円
維持会員※	—	7,000円
終身会員※	—	※※

※原則として普通会员から移行

※※満75歳以上で3万円一括納付

●関係大学

(順不同、大学対抗射会参加校など)

亜細亜大学、國學院大學、国際武道大学、国土舘大学、駒澤大学、芝浦工業大学、成蹊大学、大東文化大学、玉川大学、中央大学、東京学芸大学、東京経済大学、東京海洋大学、東京農業大学、東京農工大学、東京理科大学、東洋大学、獨協大学、日本大学、学習院大学、上智大学、東京大学、東京外国語大学、城西大学、日本体育大学、明星大学、立教大学、立正大学、防衛大学校、自治医科大学、大正大学、専修大学、帝京大学、埼玉大学、関西学院大学、甲南大学、神戸女子大学、神戸市外語大学、大阪大学、大阪府立大学、岡山理科大学、吉備国際大学、日本女子大学 等

●本多流門人として活躍した射手

(順不同、明治・大正・昭和期)

○明治弓道五人男：大平善蔵、阿波研造、長谷部慶助、徳永純一郎、石原七蔵

○三輪善輔、神永政吉、吉田能安、亀井朋次、荻原喜代治、大内義一、根矢熊吉、屋代鉸三、小山悟楼、増田儀三郎

○学校弓道関係：宇野哲人、香坂昌康、関屋龍吉、碧海康温、藤田忠、神麻良平、五十嵐裕宏、曾我部太郎市、小野田静、和田盛一、村尾圭介、寺嶋廣文、高木斐、藤岡由夫、小山晋一郎、横山粂吉、羽賀浩一、多賀武（嗣郎）、松野永三郎、紺谷英儀、西牟田砥潔、福島徳寧、平松精二、村上喜三次、松本正、亀岡武、大牧谷治、戸倉章、小高源太郎、伊藤丕夫、田部絡吉、道鎮実、石岡久夫、柳原亨平（光春）、大守麟児、佐藤洋之助、茂木釘太郎

出典：本多利生三世宗家講義「明治、大正、昭和の本多流射手」
(平成五年九月中央研修会)

○堀切菊枝、手嶋敏子、今城保、後閑縫之介、寺内弘、谷口彰一郎、山本実、千葉栄祐、大島善春



一般財団法人 本多流生弓会

www.hondaryu.net


facebook


instagram

〒172-0002 東京都豊島区巢鴨4-35-4
理事長 本多利永（本多流四世宗家）

○問い合わせ先
info@hondaryu.net
常務理事 飯野雄一郎

(2024.4)